

③ 飛来落下

安全カバーのない丸鋸盤で檜材を切断中、 檜材がはね、胸を強打

発生状況



丸鋸盤で檜材を切断しようとした時、誤って丸鋸の刃に当たり、飛び跳ねた檜材が左胸に当たり心臓部を強打

原因

- ✓ 安全カバーが取付けられていなかった
- ✓ 檜材の厚さに対して回転刃が出すぎていた
- ✓ 機械器具(丸鋸盤)の使用基準が徹底されていなかった



防止対策

- ✓ 丸鋸盤に安全カバーを設置する
- ✓ 檜材の厚さに応じて回転刃の高さ調整をする
- ✓ 機械器具(丸鋸盤)の使用基準を整備し、教育を徹底する



(安全カバーの例)



POINT!

丸鋸盤には安全カバーを設置！



発生年月日
1991.02.13

発生場所	作業名・作業内容	死傷病名	職種	木工職
工場内	鉋台製作作業	心臓強打による ショック死	社/協	協力員
			年齢	59才
			経験年数	40年

KY基礎4R

忘れないで

導入 整列・番号・挨拶・健康確認

第1R	現状把握	どんな危険がひそんでいるか イラストを見て、考えられる危険をどんどん出し合う。
-----	------	--

第2R	本質追求	これが危険のポイントだ 危険のポイントを絞り込む。
-----	------	------------------------------

第3R	対策樹立	あなたならどうする
-----	------	-----------

第4R	目標設定	私達はこうする
-----	------	---------

確認

指差呼称項目を決める

